

# かもめだより No.27

沼津市議会 会派「市民クラブ」会報

2017年10月27日

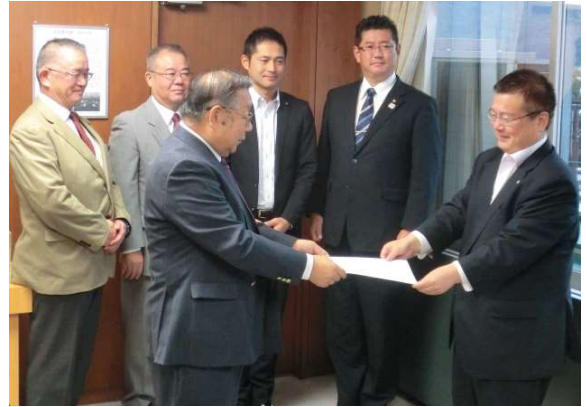
9月定例議会号

発行 市民クラブ

発行責任者 鈴木 秀郷

## 市長に平成30年度予算編成に対する要望を申し入れ

10月19日(木)、より良い沼津としていくための次年度予算および施策に対する要望を市長に申し入れましたので、その内容についてご紹介します。



### 重点要望

1. 沼津駅周辺総合整備事業の着実な推進に向けた35条調査を実施する。
2. 県東部の拠点都市として広域行政を推進する。
3. 自主的に地域が災害対応に取り組めるようにするため、各地域の現状把握と対策について検討する。  
(早期に「地域モデルケース」を選定する)
4. 高尾山古墳の活用と道路建設について平成29年度中に決断し、沼津南一色線を遅滞なく完成させる。
5. 新たなゴミ焼却場など処理施設の建設を推進するとともに、最終処分場の今後の方針を決定する。

### 一般要望

1. 暮らしを守る施策の推進
  - ①新婚家庭が沼津市に住みはじめ、将来にわたって効果的に住み続けてもらう施策を実施する。
  - ②自転車ネットワーク計画を推進しつつ、自転車の安全な利用に関する条例を検討する。
2. 福祉・教育を充実させる施策の推進
  - ①IOTを活用し、高齢者世帯や高齢者の一人住まい世帯への支援を充実する。
  - ②認知症予防・早期発見の対策を充実させる。
  - ③放課後児童クラブへの希望者全員が入所できる体制をつくる。
  - ④保育所への希望者全員が入所できる体制をつくる。
  - ⑤子供の健康を守り学習環境向上のためにエアコンの設置を早期に実現する。
  - ⑥小中学校のトイレ全てを洋式トイレにする。
  - ⑦子供のすこやかな成長のため、学校支援員・相談員・司書等の増員を図るとともに、配置時間数を拡大しつつ、チーム学校の推進をする。
  - ⑧中小企業向け勤労者共済会の会員拡大と活動の充実に取り組む。
3. 暮らしを充実させる施策の推進
  - ①文化・学習関連施設の拡充を図る。
  - ②社会体育を主管する部署を早期に新設する。
4. 街づくりの施策の推進
  - ①再生可能エネルギー利用促進策のPRを強化する。
  - ②各自治会が管理している防犯灯を全てLED化しつつ市が管理する。
  - ③地域ごとの新たな土地活用・利用については、様々な角度で検討していく。
  - ④2020年東京オリンピック・パラリンピックを活かして本市交流人口を増やす。
5. 行政の効率化の推進
  - ①各部各課の連携を深め、各課題にスムーズな対応がとれるようにする。

## 所属議員の活動

9月議会での一般質問など、各議員の活動を紹介します。

### 民生病院委員会の委員長として采配を振るっています

本定例会では、市立病院における大きな課題である安定的な医師確保に向けた「沼津市医師就業支度金貸与条例の制定」について委員会で審議。委員長として会の運営を行いました。



鈴木 秀郷議員

### 自主防災組織とフードバンクの連携

私は「地域の自主防災組織とフードバンクふじのくにとの連携」と、「空き家条例の制定効果と有効活用の取り組み」の2つのテーマで一般質問を行い、当局より積極的に取り組むとの答弁を引き出しました。また、決算審査でも様々な観点から当局の考えを質しました。



渡部 一二実議員

### 防災減災対策の充実を求めて！

自主防災の強化と消防団との連携や自然災害に対する地域の体制づくりについて、あるべき姿を研究し、現場の中で着実に実を結ぶ活動に取り組んでいます。



梶 泰久議員

### 通学路における安全対策を

老朽化した横断歩道橋の定期点検と維持補修は計画的に行うこと。横断歩道の信号機には、斜め横断ができるスクランブル式とできない歩車分離式がある。こどもかけこみ110番の家の設置目的をみんなで再確認しよう。



霞 恵介議員

### 「今後の部活動のあり方検討会」を発足！

少子化による生徒数・教員数の減、地域による生徒数の偏り、教員の多忙化や専門性確保の難しさなどの課題を解決すべく、霞議員や学校関係者と共に、自主検討会を立ち上げました。子供達のため、研究を続けています。



深田 昇議員

### 編集後記

安心・安全な市民生活を確保しつつ、都市の魅力あふれる沼津市を築いていくためには、実効ある諸施策の実施が必要です。会派一丸となって、市民の皆様の幸せと市政の発展のために尽くしていきます。

ホームページを覗いてみてください。

沼津市民クラブ

検索